

電気圧力鍋 2.5L

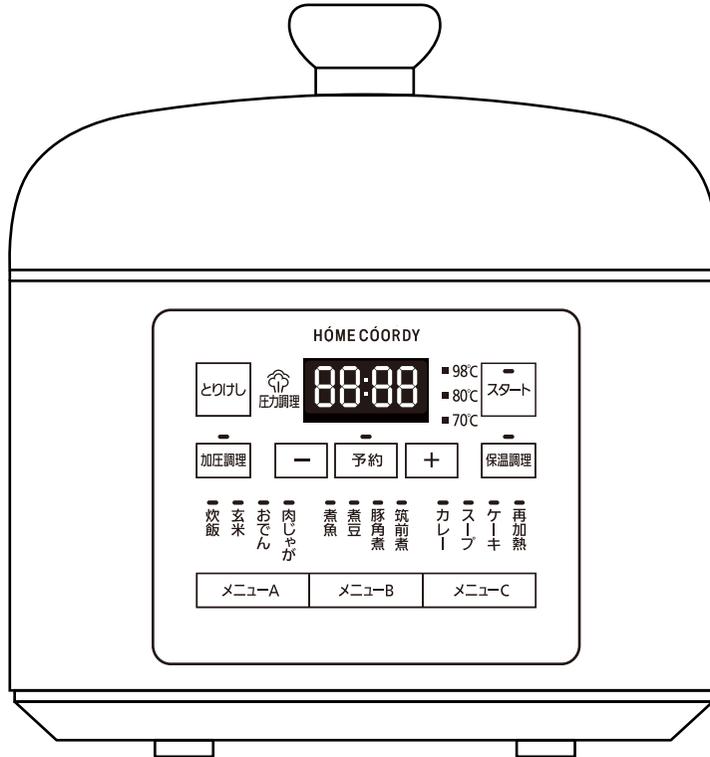
HC-PC251-WH

取扱説明書

本商品は家庭用です。電気圧力鍋の調理中は極めて高温・高圧となるため、取り扱いを誤ると危険です。初めて使用する際は必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、安全上の注意事項を必ず確認してください。この取扱説明書は大切に保管してください。

保証書付

(裏表紙)



※取扱説明書中のイラストは実際の商品と異なる場合があります。

もくじ

●安全上の注意	2～4	●自動保温について	20
●使用上の注意	5	●予約の設定について	21
●各部の名称	6～7	●再加熱の使い方	22
●本商品のできること	8	●お手入れについて	23
●使用前に必ずチェックすること	8	●故障かなと思ったら	24～25
●使い方の基本	9	●仕様	26
●使い方 自動メニュー【炊飯】	10～11	●アフターサービス	26
●使い方 自動メニュー【玄米】	12～13	●保証書	28
●使い方 自動メニュー【その他】	14～15		
●使い方手動メニュー【加圧調理】	16～17		
●使い方手動メニュー【保温調理】	18～19		

安全上の注意 必ず守ってください。

- 注意事項を、「警告」「注意」の2つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	 注意
取り扱いを誤った場合、重傷を負ったり死亡する可能性があります。	取り扱いを誤った場合、傷害を負ったり物的損害が発生する可能性があります。

図記号の例

		
△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容(上図の場合は感電注意)が描かれています。	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中には具体的な禁止内容(上図の場合は分解禁止)が描かれています。	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中には具体的な指示内容(上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。
○お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。		

警告

	電源は交流100Vで使用し、コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない <small>交流 100V 15A 以上</small> たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。		電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物をのせたり、はさみ込んだり、加工したりしない <small>禁止</small> 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない <small>禁止</small> 感電やショート、発煙・発火の原因になります		電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く <small>感電やショートして発火の原因になります。</small>
	電源プラグに金属やごみを付着させない <small>禁止</small> 感電や異常動作して、ケガをするおそれがあります。		すき間からピンや針金など、異物を入れない <small>禁止</small> 感電や異常動作して、ケガをするおそれがあります。
	水のかかるところや、火気の近くでは使用しない <small>禁止</small> 感電や漏電の原因になります。		電源プラグは、根元まで確実に差し込む <small>感電・ショート・発火の原因になります。</small> <small>根元まで差し込む</small>
	ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない <small>ぬれ手禁止</small> 感電やケガをするおそれがあります。		電源プラグの刃にホコリが付いているときは、乾いた布で拭き取る <small>ホコリを取る</small> 火災の原因になります。
	分解・修理・改造をしない <small>分解禁止</small> 火災・感電の原因になります。修理はお買い上げの販売店または「トップパリュお客様サービス係」に相談してください。		使用時以外やお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く <small>プラグを抜く</small> 感電やケガをするおそれがあります。

警告

 <p>異常・故障時には、直ちに使用を中止して電源プラグを抜く</p> <p>プラグを抜く 異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店または「トップバリュお客様サービス係」に相談してください。</p> <p>「異常・故障例」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使用中、電源プラグやコード・本体が異常に熱くなる。 ●煙が出たり焦げくさいニオイがする。 ●本体や内なべが変形している。 ●本体の一部が割れたり、ゆるみ・ガタツキがある。 ●圧力表示ピンが上がらない。 	 <p>蒸気口に顔や手を近づけない</p> <p>接触禁止 やけどのおそれがあります。特に乳幼児に触らせないようにしてください。</p>
 <p>子供だけで使用したり、幼児の手の届くところで使用しない。</p> <p>禁止 感電やケガ、やけどのおそれがあります。</p>	 <p>本体を水に浸けたり、水をかけたりしない</p> <p>水ぬれ禁止 ショート・感電の原因になります。</p>
 <p>不安定な場所や、熱に弱いテーブルなどで使用しない</p> <p>禁止 じゅうたん・畳・ビニールシート・樹脂などの上でも使用しないでください。熱で変形・変色や火災の原因になります。</p>	 <p>調理中は絶対にフタを開けたり移動しない</p> <p>禁止 圧力表示ピンが上がっている状態で無理にフタを開けない</p> <p>やけどのおそれがあります。</p>
 <p>壁や家具の近くや周囲に熱がこもる環境で使用しない</p> <p>禁止 熱や蒸気で変形・変色、火災の原因になります。 ※壁や家具から 30cm 以上離してください。 キッチン用収納などで使用するときには蒸気がこもらないように注意してください。</p>	 <p>専用の内なべ以外は使用しない</p> <p>禁止 過熱や異常動作の原因となります。</p>
 <p>お手入れは本体が冷えてから行う</p> <p>やけどのおそれがあります。</p>	 <p>使用中や使用直後は圧力表示ピンやおもりなどの高温部に触れない</p> <p>接触禁止 やけどのおそれがあります。</p>
 <p>フタを開けるときは、蒸気や熱い水滴に注意する</p> <p>やけどのおそれがあります。</p>	 <p>本体を持ち運ぶときに開閉ボタンに触れない</p> <p>接触禁止 フタが開き、ケガをするおそれがあります。</p>

注意

 <p>材料・調味液は下記の目盛り以上に入れない</p> <p>禁止 水・食材を合わせて、内なべの容量の2/3未満(水位線のMAX線)で使用してください。 豆類・麺類などの調理中に膨張するものや、お粥のように泡が出やすいものは、水・食材を合わせて内なべの内容の1/3未満(水位線の豆類MAX線)で使用してください。 やけど・ケガをするおそれがあります。</p>	 <p>多量の油や重そうなど、急激に熱反応して発泡するものは使わない</p> <p>禁止 やけど・ケガをするおそれがあります。</p>
 <p>圧力を安全に逃すことができず、フタがはずれて飛び出すおそれがあります</p> <p>禁止</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●圧力調理時、フタを確実に閉めていない。 ●おもりや圧力表示ピンが穴詰まりしている。 ●パッキンが傷んでいる。 ●材料が、パッキン取付部やパッキンの上のっている。 ●蒸気排出レバーに、異物が詰まるなどして動作しない。 	 <p>調理以外の目的で使用しない</p> <p>禁止 やけど・ケガをするおそれがあります。</p>  <p>使用後、フタを開けるときは内圧を下げてからフタを聞いてください</p> <p>禁止 調理が終わった後も、内なべの中には圧力が残っています。内なべの中に少しでも圧力が残っている状態でフタを開けようとするとうつが飛んだり内容物が噴き出てやけど・ケガをするおそれがあります。</p>

⚠ 注意

 <p>コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p>	 <p>電源プラグは、根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全だと、漏電や発熱による火災の原因になります。傷んだ電源プラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>
 <p>電源プラグのほこりなどは定期的にとる プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。</p>	 <p>鍋は不安定な状態では使用しない 熱板の縁の突起に乗り上げた状態で使用すると、落下などによりやけどやケガの原因になります。</p>
 <p>センサー（本体の内底部）に衝撃を与えない 損傷した場合そのまま使うと、過熱や異常動作、感電の原因になります。</p>	 <p>調理以外の目的で使用しない 故障の原因になります。</p>
 <p>内なべ単体を他の熱源にかけない 故障や変形の原因になります。</p>	 <p>カレーやシチューなどの粘性の強い料理は加圧しない ルウを入れずに加圧調理し、ルウを入れた後は再加熱で煮込んでください。</p>
 <p>油脂の多い食材を大量に調理する場合は一度下ゆでをする 脂分の多い食材（すじ肉、スペアリブなど）を一度に大量に調理すると、油脂が固着して安全装置が正常に作動しなくなることがあります。大量に調理する場合は、レシピに記載が無くても一度下ゆでして、油脂分を落としてから調理してください。</p>	 <p>不安定な場所や、熱に弱い敷物の上では使用しない 転倒によるやけどやケガ、火災の原因になります。</p>
 <p>天ぷらなど、揚げ物調理に使用しない 過熱により、発火するおそれがあります。</p>	 <p>移動時はフタを持たず、本体底部の左右手持ち部分に手を入れて持って移動してください 鍋が落下して、やけど・ケガ、故障の原因になります。</p>
 <p>使用中や使用直後は、高温部にふれない やけどの原因になります。</p>	 <p>使用后しばらくは、本体内側の熱板にふれない やけどの原因になります。</p>
 <p>電源コードはプラグを持って引き抜く 感電やショートして発火する恐れがあります。</p>	

■ 突沸について

加熱した液体が沸点（水：100℃）を超えても沸騰しない状態（過加熱状態）で、振動などの衝撃で突然、激しく沸騰する現象を「突沸」と言います。

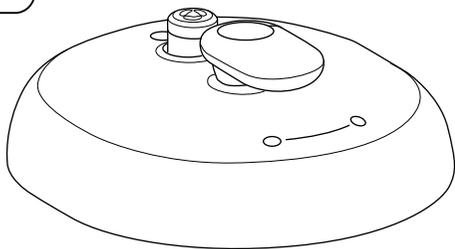
再加熱するときは、ゆっくりよくかき混ぜながら温めてください。激しい突沸が起ると内容物が噴出して周囲に飛散し、その勢いで本体が大きく動くことがあり、大変危険です。

使用上の注意

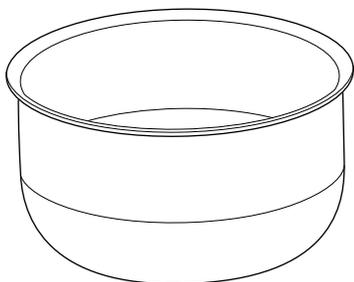
- 初めて使用するときや長期間保管していたときは、フタ、フタパッキン、内なべ、おもり、圧力表示ピン、圧力表示ピンパッキンを水洗いして十分に乾燥させてください。
- 本体と内なべの間に絶対水を入れしないでください。
- 本体・電源コードを丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしないでください。ショート・感電のおそれがあります。
- 内なべの外側や熱板、温度センサーに付いた米粒や異物は、必ず取り除いてください。故障の原因になります。
- 別の調理鍋などを本体に入れて使わないでください。故障の原因になります。
- 内なべを他の熱源にかけないでください故障や変形の原因になります。
- センサーの誤検知を防ぐために調味液は、合わせてよく溶かしてから入れてください。生煮えになるなど、うまく調理ができない原因になります。
- 内なべのフッ素加工を長持ちさせるために
 - ・泡立て器や金属製の用具などかたい物を使用しない。
 - ・食器類を入れるなど調理以外の目的で使用しない。
 - ・白米・無洗米以外を保温しない。
 - ・酢を使用しない。(酢めしなど)
 - ・調味料を使用したときは、すぐに洗う。
 - ・かたいスポンジやたわしなどで洗わない。
 - ・食器乾燥機や食器洗浄機を使用しない。
 - ・洗米しない。(洗米は別の容器で行う。)
- 食器洗浄機や食器乾燥機などは使用しないでください。変形するおそれがあります。
- 取り扱いには丁寧にしてください。落としたり、強い衝撃を加えたりすると、ケガや故障の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災のおそれがあります。
- 次のような場所では使用しないでください。変形や跡が付いたり、こげたり、故障・感電・火災の原因になります。
 - ・ビニール製などの熱に弱いテーブルクロスの上
 - ・たたみ・じゅうたんなどの上
 - ・熱に弱いテーブルやワゴンの上
 - ・カーテンなどの近く
 - ・不安定な場所
- 2/3以上の内容物を入れて使用しないでください。特に豆類・麺類などの調理中に膨張するものや、お粥のように泡が出やすいものは、1/3以上の内容物を入れて使用しないでください。うまく調理できなかったり、故障の原因になります。
- 内なべ内側の最高水位線・豆類線の目盛り以下で使用してください。
- 調理中は本体を移動しないでください。やけどの原因になります。
- フタを開ける時、蒸気にふれないように注意してください。やけどのおそれがあります。
- 内なべ・パッキンは使用前に洗ってください。使い始めは樹脂、金属のニオイがする場合があります。本体・コード以外は丸洗いができます。
- 機能・性能を維持するため本体には通気口を設けてありますが、この穴からホコリや虫が入ると故障の原因になります。本体や本体の周りは清潔にしてください。
- 内なべが変形や腐食した場合
【トップバリュお客さまサービス係】までお問い合わせください。

各部の名称

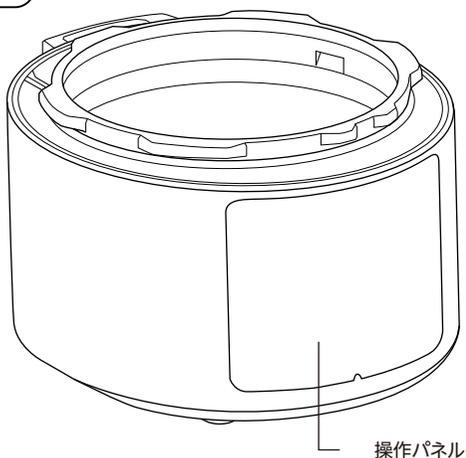
フタ



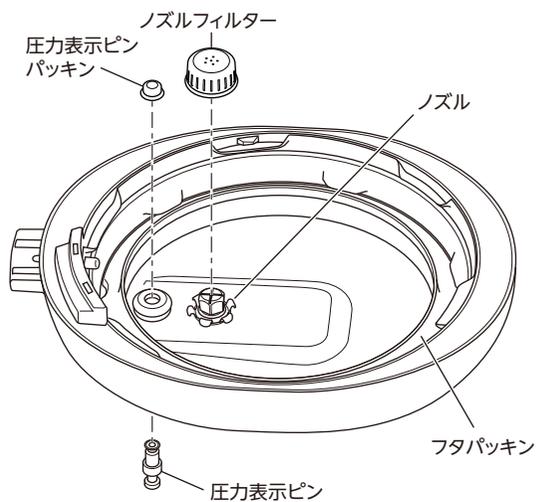
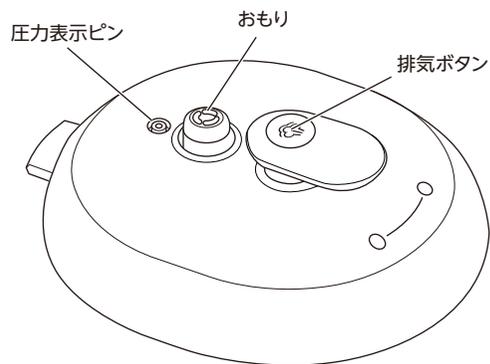
内なべ



本体

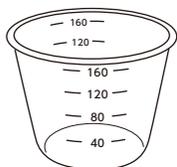


■フタ各部名称

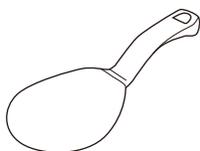


■付属品

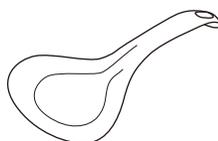
計量カップ



しゃもじ



おたま



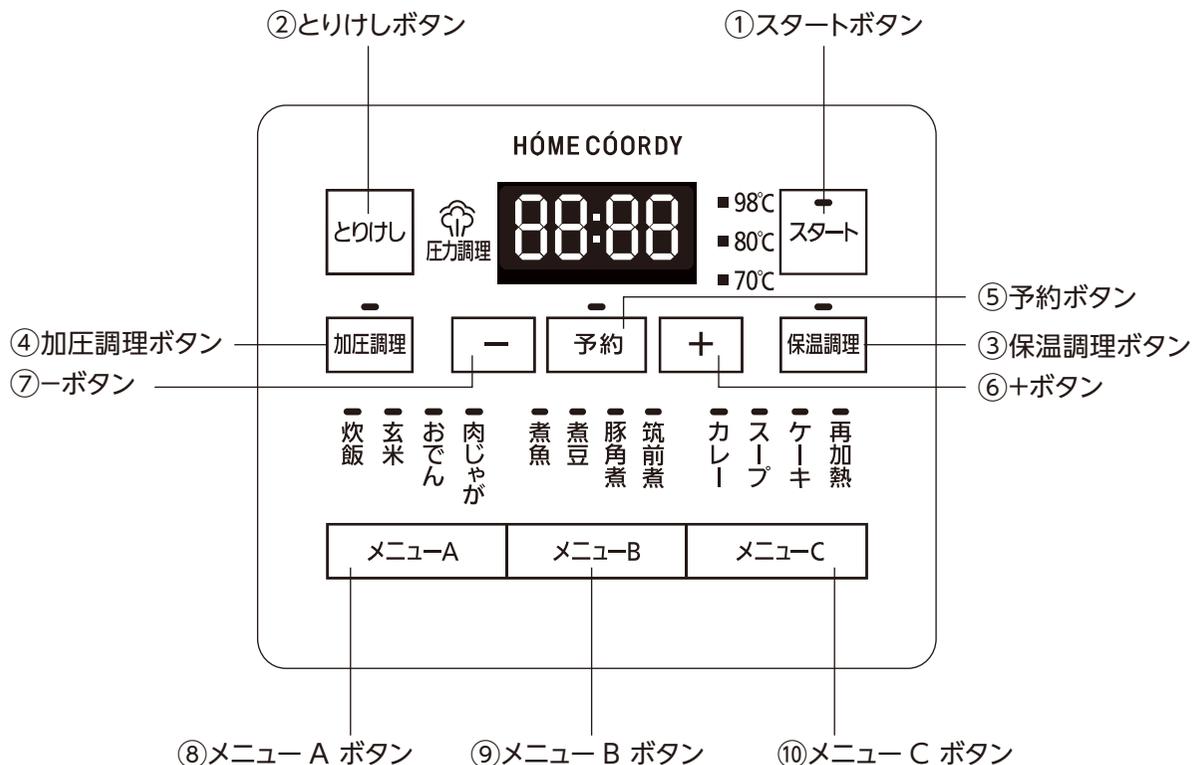
取扱説明書



レシピブック



■操作パネル



①スタートボタン
調理スタート時に押します。

②とりけしボタン
調理を中断したいとき、途中の操作を取り消したいときに押します。

③保温調理ボタン
押すたびに保温温度が切り替わります。

④加圧調理ボタン
加圧時間を選択して調理したいときに押します。

⑤予約ボタン
できあがりまでの時間を予約したいときに押します。

⑥+ボタン / ⑦-ボタン
予約時間、加圧調理時間、保温調理時間を調整するときに押します。

⑧メニュー A ボタン
自動メニュー（炊飯、玄米、おでん、肉じゃが）を選択するときに押します。

⑨メニュー B ボタン
自動メニュー（煮魚、煮豆、豚角煮、筑前煮）を選択するときに押します。

⑩メニュー C ボタン
自動メニュー（カレー、スープ、ケーキ、再加熱）を選択するときに押します。

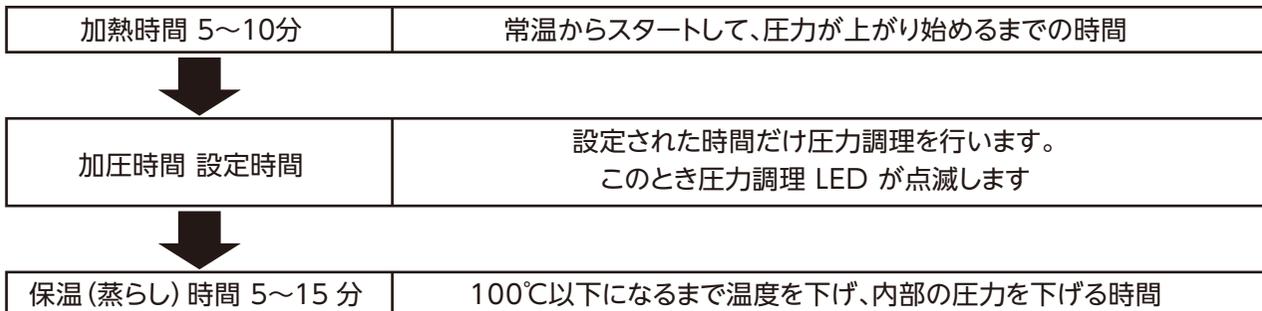
本商品でできること

■かんたん操作の自動メニュー

自動メニューを選ぶだけで、それぞれのメニューに合わせた加圧時間で調理できます。
圧力調理モードでは、お好みの加圧時間を設定できます。
保温調理モードでは、圧力はかかりませんが、じっくりとあたためながらの調理ができます。

■調理時間の目安

圧力調理するには、3つの工程があります

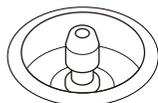


なお自動メニューでは、あらかじめ設定された時間で加圧されます。

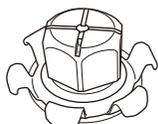
使用前に必ずチェックすること

① フタのノズル、ノズルフィルターの目詰まりチェック

穴が詰まっていれば竹ぐしやつまようじなどで取り除いてください。



ノズル上側



ノズル下側

※ノズルは取り外せません。
無理に取り外そうとすると故障の原因になります。

③ 排気ボタンの動作チェック

押すとおもりが上下動するか確認してください



② 圧力調整ピンの目詰まりチェック

穴が詰まっていればつまようじなどで取り除いてください。
縦穴と横穴をチェックしてください。



④ おもりの目詰まりチェック

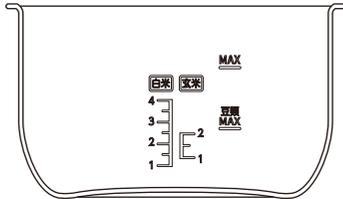
穴が詰まっていれば竹ぐしやつまようじなどで取り除いてください。



使い方の基本

1. 内なべに材料を入れる

材料・調味料は MAX 線以上に入れないでください。豆類・麺類などの調理中に膨張するものや、お粥のように泡が出やすいものは、材料を水を合わせて容量の 1/3 以下 (豆類MAX線) になる量で使用してください。

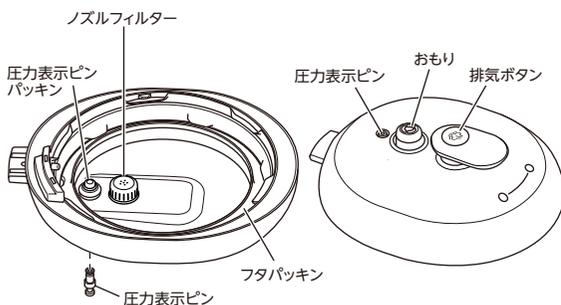


2. 内なべを本体にセット

内なべの周囲についた水滴や異物を取り除いてください。本体のつゆ受けに水滴がついていないか確認してください。

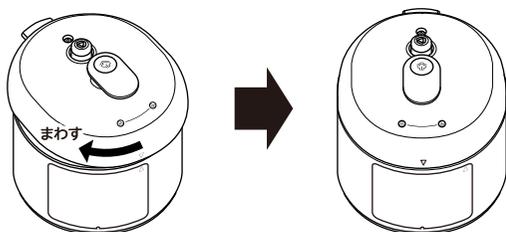
3. フタに付属品を取り付ける

フタパッキン・ノズルフィルター・圧力表示ピン・圧力表示ピンパッキンを確実に取り付けます。ノズル・圧力表示ピンの穴が詰まっていないか確認してください。圧力表示ピン・排気ボタンがスムーズに動くことを確認してください。



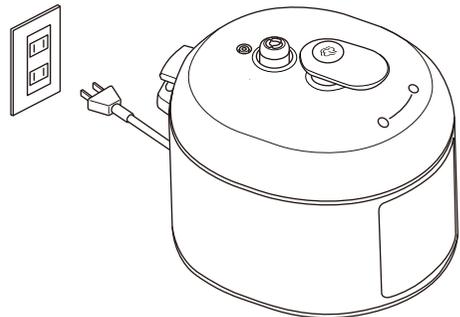
4. フタを閉める

フタの▽印と本体の△印をあわせて垂直にセットしてください。本体が動かないように手を添えながら、フタ取っ手を持ち時計方向に止まるまでしっかり回します。



5. 電源コードを差し込む

ピッという音がして操作パネルが点灯します。フタが完全に閉まっていないと調理スタートしません。



6. メニューを選択する

自動メニュー、加圧調理、保温調理の中から選択します。必要に応じて予約設定も行います。

7. スタートキーを押して調理開始

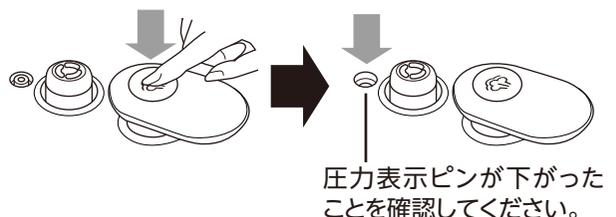
加圧される調理は、調理中に圧力調理 LED が点灯し最大圧力がかけられている間は点滅表示になります。



8. 調理終了

炊飯、玄米、おでん、豚角煮、筑前煮、スープについては自動で保温に切り替わります。保温時間は最大で 12 時間です。

9. 排気ボタンを押して残圧を逃がす



10. フタを開けて調理物を取り出す

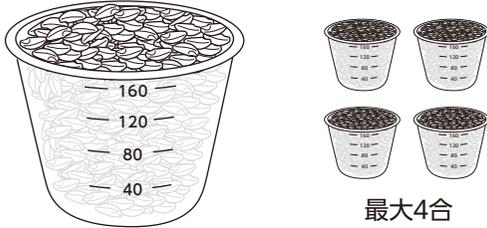
11. コンセントを抜く

12. お手入れをする (お手入れページ参照)

使い方 自動メニュー【炊飯】

1. 米を計量する

付属の計量カップでお米を量ります。
すりきりで1合です。(計量カップは1カップ約180ml)
最大で4合まで炊くことができます。

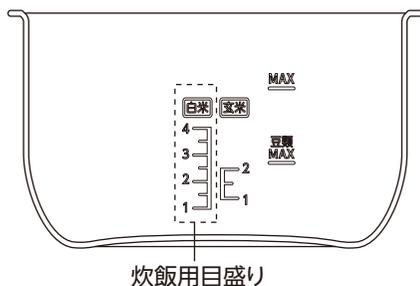


2. 米をとぐ

米をボウルなどの別容器に移して、水でかき混ぜるよう
ようにしてといでください。
2~3回繰り返してください。
お湯で洗わないでください。
力を入れてとぐと米が割れておいしく炊けないことが
あります。
無洗米はとぐ必要はありませんが、そのまま炊飯する
と吹きこぼれてうまく炊けない場合がありますので水
で軽くすすいでください。

3. 水加減する

といだ米を内なべに入れて水平なところに置き、目盛
線に合わせて水を入れてください。
無洗米も白米と同じ目盛線に合わせてください。
10~30℃の水を入れてください。
お湯は入れないでください。
浄水器の水を使用しても構いませんが、アルカリイオ
ン水で炊くと変色したり、おいしく炊けない場合があり
ます。



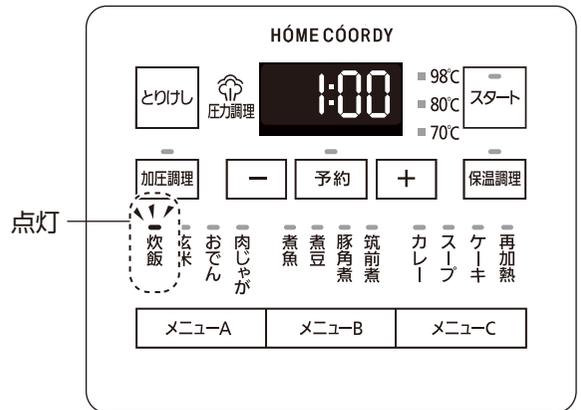
4. 本体とフタの準備をする

9ページの「使い方の基本」の2~5の手順で準備をし
てください。

- ②内なべを本体にセットする
- ③フタに付属品を取り付ける
- ④フタを閉める
- ⑤電源コードを差し込む

5. メニュー A ボタンを押して、炊飯を選ぶ

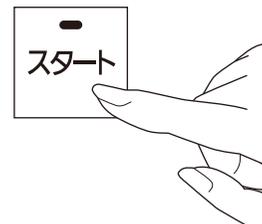
炊飯ランプが点滅し、できあがりまでの時間が表示さ
れます。



操作を途中で取り消すにはとりけしボタンを押してくだ
さい。操作が取り消されて、調理前の設定に戻ります。

6. スタートボタンを押す

スタートランプが点灯に変わり調理が開始されます。
表示部では終了までの残時間が表示されます。
調理時間は炊飯量や水温などにより異なるため、誤差
が生じる場合があります。

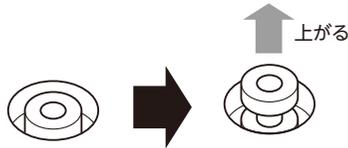


操作を取り消すには、とりけしボタンを押してください。



7. 加熱が進むと圧力表示ピンが上がる

圧力が安定するまでは圧力表示ピンから蒸気が漏れる場合があります。



8. 圧力調理ランプが点滅

最大加圧状態になると、圧力表示ランプが点滅します。



9. 調理が終了

ブザーが8回鳴り、表示画面が0Hとなり自動的に保温を開始します。

保温は補助的機能です。調理終了後はなるべく早く召し上がってください。

10. 排気ボタンを押して残圧力を排出してからフタを開ける

圧力表示ピンが下がっていることを確認してください。炊きあがったらすぐにほぐして余分な水分を逃がしてください。

ごはんをほぐすにはしゃもじを使用してください。

11. 調理物を取り出す

長時間の保温は避け、早めに別の容器などに移し替えてください。

12. お手入れをする

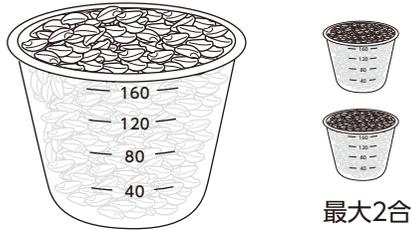
使い終わったらすぐにお手入れをしてください。

時間が経つにつれ、ニオイや汚れが落ちにくくなります。

使い方 自動メニュー【玄米】

1. 米を計量する

付属の計量カップでお米を量ります。
すりきりで1合です。(計量カップは1カップ約180ml)
最大で2合まで炊くことができます。

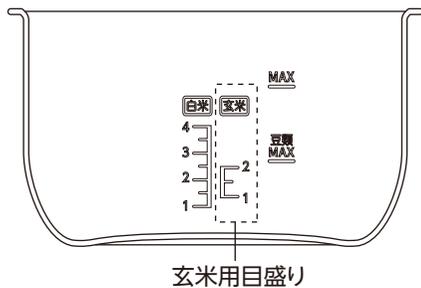


2. 玄米を水で洗う

玄米をボウルなどの別容器に移して、水でかるく1~2回すすいでください。
白米のようにとぐ必要はありません。
お湯で洗わないでください。

3. 水加減する

洗った玄米を内なべに入れて水平なところに置き、目盛線に合わせて水を入れてください。
10~30℃の水を入れてください。
お湯は入れないでください。
浄水器の水を使用しても構いませんが、アルカリイオン水で炊くと変色したり、おいしく炊けない場合があります。



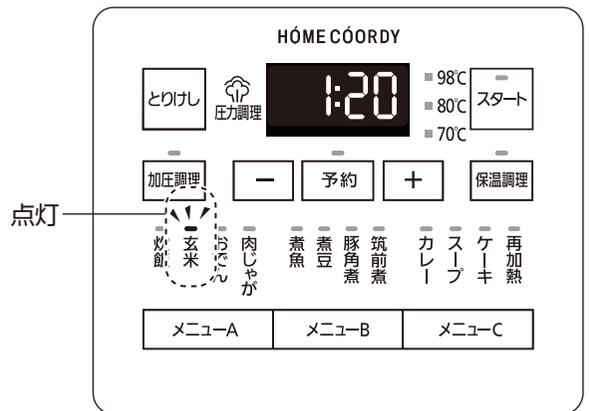
4. 本体とフタの準備をする

9ページの「使い方の基本」の2~5の手順で準備をしてください。

- ②内なべを本体にセットする
- ③フタに付属品を取り付ける
- ④フタを閉める
- ⑤電源コードを差し込む

5. メニュー A ボタンを押して、玄米を選ぶ

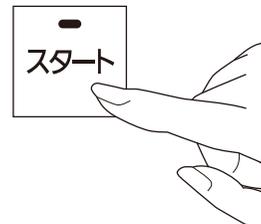
玄米ランプが点滅し、できあがりまでの時間が表示されます。



操作を途中で取り消すにはとりけしボタンを押してください。操作が取り消されて、調理前の設定に戻ります。

6. スタートボタンを押す

スタートランプが点灯にかわり調理が開始されます。
表示部では終了までの残時間が表示されます。
調理時間は炊飯量や水温などにより異なるため、誤差が生じる場合があります。

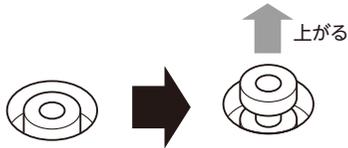


操作を取り消すには、とりけしボタンを押してください。



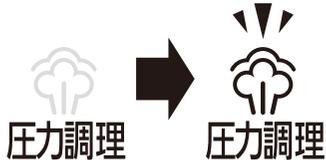
7. 加熱が進むと圧力表示ピンが上がる

圧力が安定するまでは圧力表示ピンから蒸気が漏れる場合があります。



8. 圧力調理ランプが点滅

最大加圧状態になると、圧力表示ランプが点滅します。



9. 調理が終了

ブザーが8回鳴り、表示画面が0Hとなり自動的に保温を開始します。

保温は補助的機能です。調理終了後はなるべく早く召し上がってください。

10. 排気ボタンを押して残圧力を排出してからフタを開ける

圧力表示ピンが下がっていることを確認してください。炊きあがったらすぐにほぐして余分な水分を逃がしてください。

ごはんをほぐすにはしゃもじを使用してください。

11. 調理物を取り出す

長時間の保温は避け、早めに別の容器などに移し替えてください。

12. お手入れをする

使い終わったらすぐにお手入れをしてください。

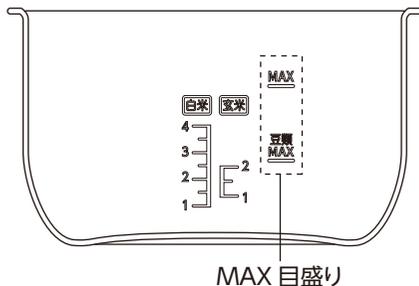
時間が経つにつれ、ニオイや汚れが落ちにくくなります。

1. 材料を用意する

レシピブックの各メニューに記載された材料を用意してカットします。

2. 内なべに材料を入れる

調味料はよく混ぜてください。
材料や水、調味料を入れすぎないでください。
MAX 線以上は入れないでください。
豆類・麺類などの調理中に膨張するものや、お粥のように泡の出やすいものは、豆類 MAX 以上は入れないでください。



3. 本体とフタの準備をする

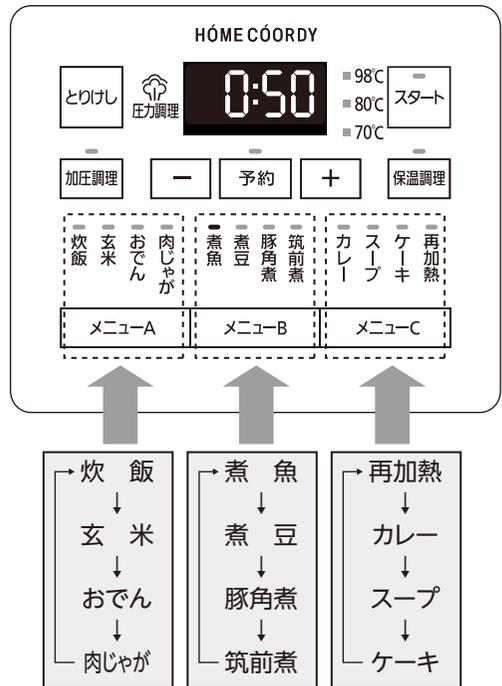
9ページの「使い方の基本」の2～5の手順で準備をしてください。

- ②内なべを本体にセットする
- ③フタに付属品を取り付ける
- ④フタを閉める
- ⑤電源コードを差し込む

4. メニューボタンを押す

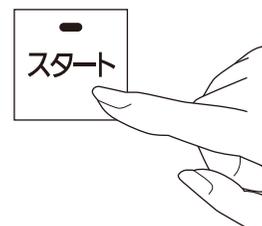
各メニューのランプが切り替わります
メニュー A 炊飯⇒玄米⇒おでん⇒肉じゃが
メニュー B 煮魚⇒煮豆⇒豚角煮⇒筑前煮
メニュー C 再加熱⇒カレー⇒スープ⇒ケーキ

- ※押し続けると、1秒毎に切り替わります。
- ※再加熱の使い方は22ページ参照。
- ※予約をしたいときは予約ボタンを押してください。
予約の使い方は21ページ参照。



5. スタートボタンを押す

スタートランプが点灯にかわり調理が開始されます。
表示部では終了までの残時間が表示されます。
調理時間は調理量や水温などにより異なるため、誤差が生じる場合があります。



操作を取り消すには、とりけしボタンを押してください。
取り消したときに、圧力がかかっている場合があります。
フタを開ける前に、必ず圧力表示ピンが下がっているか確認してください。
上がっている場合は下がるまで待ってください。
排気ボタンを押して残圧力を排出してからフタを開けてください。



6. 加熱が進むと圧力表示ピンが上がる

圧力が安定するまでは圧力表示ピンから蒸気が漏れる場合があります。



7. 圧力調理ランプが点滅

最大加圧状態になると、圧力表示ランプが点滅します。



8. 調理が終了

ブザーが8回鳴り、表示画面がOHとなり自動的に保温を開始します。

自動で保温に入るメニューと入らないメニューがありますのでご注意ください。

保温は補助的機能です。調理終了後はなるべく早く召し上がってください。

9. 排気ボタンを押して残圧を排出してからフタを開ける

圧力表示ピンが下がっていることを確認してください。

10. 調理物を取り出す

長時間の保温は避け、早めに別の容器などに移し替えてください。

11. お手入れをする

使い終わったらすぐにお手入れをしてください。
時間が経つにつれ、ニオイや汚れが落ちにくくなります。

使い方 手動メニュー【加圧調理】

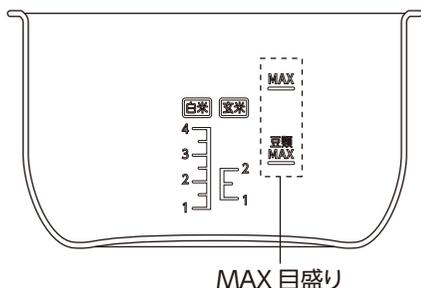
手動で加圧調理をするメニューです。お好みで加圧時間を設定して調理することができます。

1. 材料を用意する

材料を用意してカットします。

2. 内なべに材料を入れる

調味料はよく混ぜてください。
材料や水、調味料を入れすぎないでください。
MAX 線以上は入れないでください。
豆類・麺類などの調理中に膨張するものや、お粥のように泡の出やすいものは、豆類 MAX 以上は入れないでください。



3. 本体とフタの準備をする

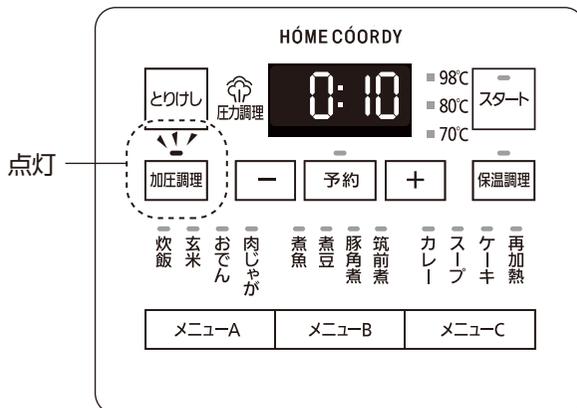
9ページの「使い方の基本」の2~5の手順で準備をしてください。

- ②内なべを本体にセットする
- ③フタに付属品を取り付ける
- ④フタを閉める
- ⑤電源コードを差し込む

4. 加圧調理ボタンを押す

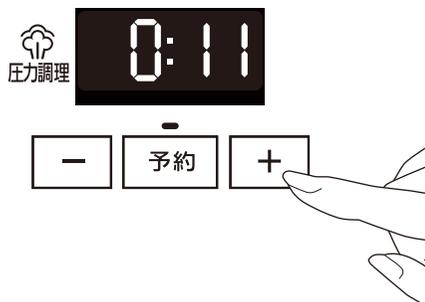
加圧調理 LED が点灯し、表示部に加圧調時間が表示されます。

※表示時間は加圧される時間です。調理時間全体ではありません。



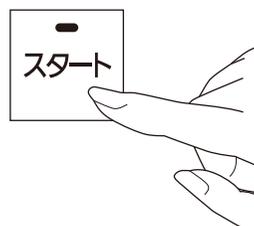
5. +ボタンとーボタンで加圧時間を選択

最大で30分まで選択可能です。
この時間は、加圧される時間を選択するものです。
全体の調理時間は、加圧状態になるまでの時間と、加圧終了後に圧力が下がるまでの時間がプラスされます。



6. スタートボタンを押す

スタートランプが点灯にかわり調理が開始されます。
表示部では終了までの残時間が表示されます。
調理時間は調理量や水温などにより異なるため、誤差が生じる場合があります。

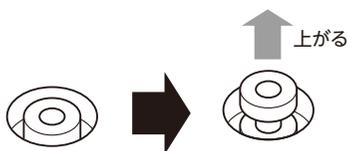


操作を取り消すには、とりけしボタンを押してください。
取り消したときに、圧力がかかっている場合があります。
フタを開ける前に、必ず圧力表示ピンが下がっている
か確認してください。
上がっている場合は下がるまで待ってください。
排気ボタンを押して残圧力を排出してからフタを開け
てください。



7. 加熱が進むと圧力表示ピンが上がる

圧力が安定するまでは圧力表示ピンから蒸気が漏れる
場合があります。



8. 圧力調理ランプが点滅

最大加圧状態になると、圧力表示ランプが点滅します。



9. 調理が終了

ブザーが8回鳴り、通電が終了します。
自動で保温には入りません。

10. 排気ボタンを押して残圧力を排出してから フタを開ける

圧力表示ピンが下がっていることを確認してください。

11. 調理物を取り出す

早めに別の容器などに移し替えてください。

12. お手入れをする

使い終わったらすぐにお手入れをしてください。
時間が経つにつれ、ニオイや汚れが落ちにくくなります。

使い方 手動メニュー【保温調理】

圧力をかけず100℃以下の低温で一定時間調理を行うモードです。

1. 材料を用意する

材料を用意してカットします。

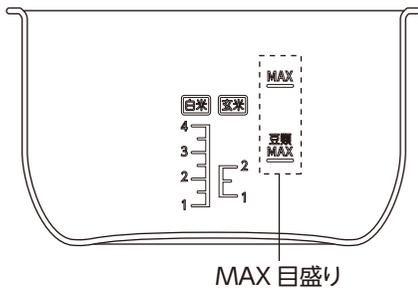
2. 内なべに材料を入れる

調味料はよく混ぜてください。

材料や水、調味料を入れすぎないでください。

MAX 線以上は入れないでください。

豆類・麺類などの調理中に膨張するものや、お粥のように泡の出やすいものは、豆類 MAX 以上は入れないでください。



3. 本体とフタの準備をする

9ページの「使い方の基本」の2～5の手順で準備をしてください。

- ②内なべを本体にセットする
- ③フタに付属品を取り付ける
- ④フタを閉める
- ⑤電源コードを差し込む

4. 保温調理ボタンを押す

保温調理 LED が点灯します。

ボタンを押すごとに、設定温度が切り替わります。

98℃⇒80℃⇒70℃⇒・・・



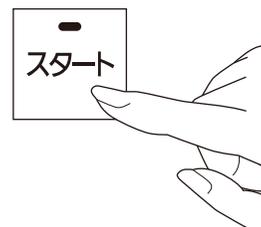
5. +ボタンと-ボタンで加圧時間を選択

1時間までは10分単位、1時間以上は30分単位で時間設定できます。



6. スタートボタンを押す

スタートランプが点灯にかわり調理が開始されます。表示部では終了までの残時間が表示されます。



操作を取り消すには、とりけしボタンを押してください。取り消したときに、圧力がかかっている場合があります。フタを開ける前に、必ず圧力表示ピンが下がっているか確認してください。

上がっている場合は下がるまで待ってください。

排気ボタンを押して残圧力を排出してからフタを開けてください。



7. 調理が終了

ブザーが8回鳴り、通電が終了します。
自動で保温には入りません。

8. 排気ボタンを押して残圧力を排出してからフタを開ける

保温調理は100℃以下で調理するため加圧されることはありませんが、蒸気により内圧が上がっている場合があります。
フタを開ける前に必ず排気ボタンを押して、ピンが下がっていることを確認してください。

9. 調理物を取り出す

早めに別の容器などに移し替えてください。

10. お手入れをする

使い終わったらすぐにお手入れをしてください。
時間が経つにつれ、ニオイや汚れが落ちにくくなります。

■低温調理の注意

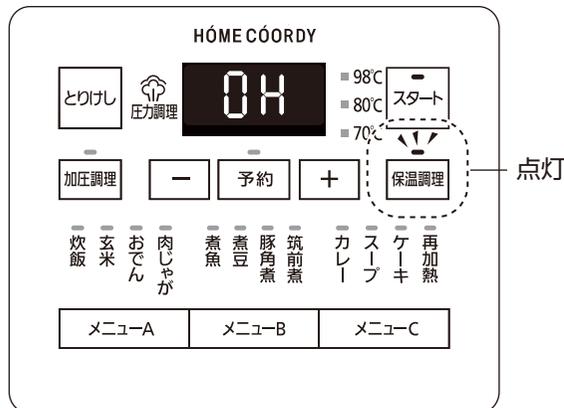
低温調理は高温で食材を殺菌できないため、食品や料理の安全に留意する必要があります。下記を守って調理してください。

1. 新鮮な食材を使用してください。冷凍保存した食材はあらかじめ解凍し常温に戻してから調理してください。
2. 包丁やまな板は清潔な道具を使用してください。また、調理に使用するビニール袋は新しいものを使用してください。
3. 調理前の食材に直接触れないでください。
4. 食材は20～50℃の温度で保存すると食中毒の可能性が高くなりますので、調理中の食材内部が指定温度になるようにしてください。
5. 調理後は早めに召し上がってください。

自動保温について

自動メニュー調理が終了すると、引き続き自動で保温が開始されます。

調理終了後、保温調理 LED が点灯します。
 保温温度は約70℃です。
 最初は「0H」と表示され、1時間ごとに「1H⇒2H⇒…」
 と表示が切り替わります。



使い終わったら

使い終わったらすぐにお手入れをしてください。
 時間が経つにつれ、ニオイや汚れが落ちにくくなる場合
 があります。

自動保温に入るメニュー

自動保温する		自動保温しない
12時間まで	6時間まで	肉じゃが 煮魚 煮豆 ケーキ カレー
炊飯 玄米 おでん スープ	豚角煮 筑前煮	

自動で保温に入るメニューと入らないメニューがありますので注意してください。

※保温をすることで煮詰まったり固くなるなどの影響
 があるメニューは自動保温できません。

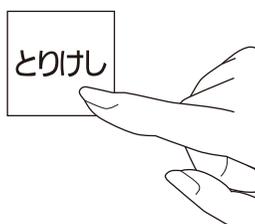
長時間保温し続けると固くなったり、場所によってベタ
 ついておいしくなくなります。

長時間の保温は避け、ラップで包んで冷凍保存してく
 ださい。

一度冷めたごはんは本商品で保温しても温かくなりませ
 せん。電子レンジであたためてください。

保温を途中で停止するには

とりけしボタンを押してください。
 調理開始前の状態に戻ります。



予約の設定について

出来上がりまでの時間を予約することができます。

予約設定できるメニュー

予約できる		予約できない
最大9時間	最大12時間	
炊飯	おでん 肉じゃが カレー スープ	玄米 豚角煮 筑前煮 煮魚 煮豆 ケーキ

1. 内なべに材料を入れてフタをする

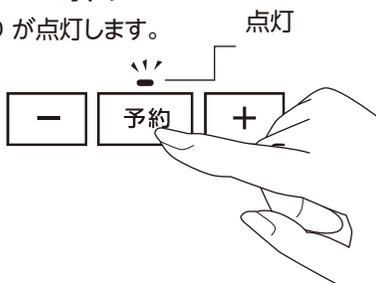
2. 電源プラグを差し込む

3. メニューを選ぶ

炊飯、おでん、肉じゃが、カレー、スープから選んでください。

4. 予約ボタンを押す

予約 LED が点灯します。

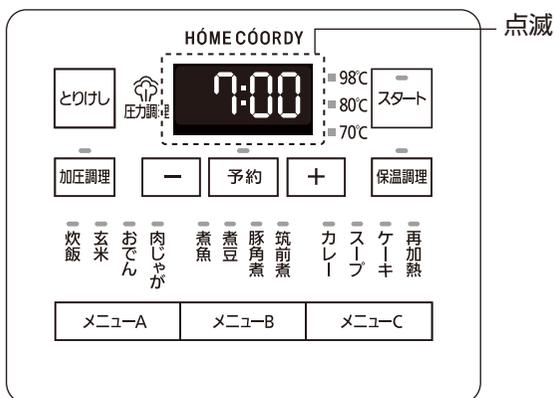


5. 予約時間を設定

−/+ ボタンで時間調整してください。30分単位で設定できます。

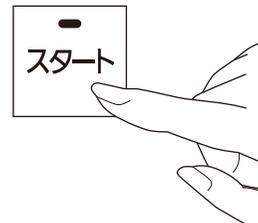
炊飯・・・1：30～9：00

おでん・肉じゃが・カレー・スープ・・・1：30～12：00



6. スタートボタンを押す

スタートランプが点灯にかわり調理が開始されます。表示部では終了までの残時間が表示されます。調理時間は炊飯量や水温などにより異なるため、誤差が生じる場合があります。



炊飯は予約時間に合わせて調理が終了します。おでん・肉じゃが・カレー・スープについては、スタート後すぐに調理を行い予約時間までは保温を行います。時間終了前に再加熱を行います。

操作を取り消すには、とりけしボタンを押してください。取り消したときに、圧力がかかっている場合があります。フタを開ける前に、必ず圧力表示ピンが下がっているか確認してください。

上がっている場合は下がるまで待ってください。



7. 調理が終了

できあがったらブザー音が8回鳴ってお知らせします。

8. 排気ボタンを押して残圧を排出してからフタを開ける

圧力表示ピンが下がっていることを確認してください。

9. 調理物を取り出す

長時間の保温は避け、早めに別の容器などに移し替えてください。

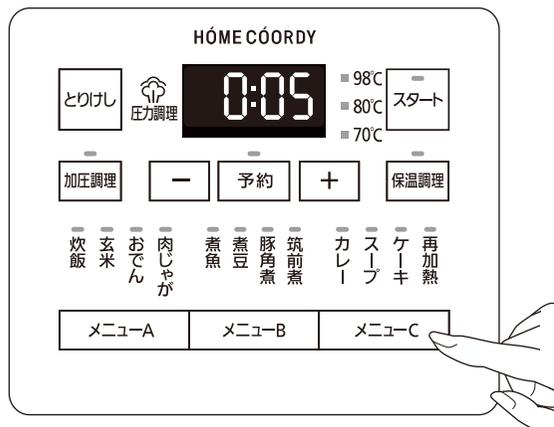
10. お手入れをする

使い終わったらすぐにお手入れをしてください。時間が経つにつれ、ニオイや汚れが落ちにくくなります。

再加熱の使い方

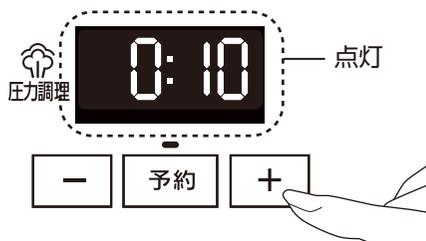
調理の仕上げや料理のあたためなおしに使える機能です。必ずフタを開けて調理してください。

1. メニュー C を押して、再加熱を選択する



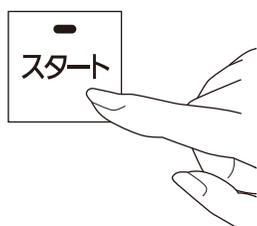
2. +ボタンと-ボタンで調理時間を選択

最大10分まで設定ができます。



3. スタートボタンを押す

スタートランプが点灯にかわり、調理が開始されます。
表示部では終了までの残時間が表示されます。



※よくかき混ぜながら調理してください。
突沸や、内なべがこげつくおそれがあります。

操作を取り消すには、とりけしボタンを押してください。
調理開始前の状態に戻ります。



4. 調理が終了

できあがったら音でお知らせします。

5. 調理物を取り出す

長時間の保温は避け、早めに別の容器などに移し替えてください。

6. お手入れをする

使い終わったらすぐにお手入れをしてください。
時間が経つにつれ、ニオイや汚れが落ちにくくなります。

お手入れについて

警告

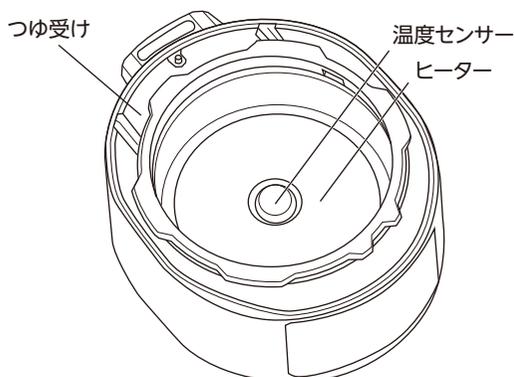
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本体が冷めてから行ってください。

注意

- 内なべやふたパッキンなどに食品かすなどの異物を付けたままにしたり、おもりや圧力表示ピン、ノズルに異物が詰まっていると、けがややけど、故障の原因となりますので、使用後はしっかりとお手入れをしてください。
- 本体を丸洗いしたり、水に浸さないでください。
- ベンジン、シンナー、磨き粉、研磨剤入り洗剤、漂白剤、ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥機は使わないでください。部品の変形や故障の原因になります。

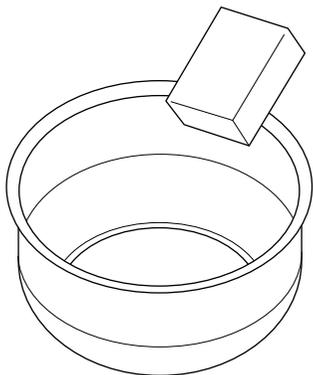
■本体

やわらかいふきんで拭きます。温度センサーに汚れがついていると誤動作の原因になります。必ずきれいに使用してください。



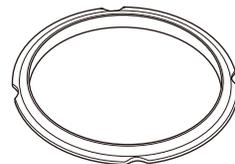
■内なべ

食器用洗剤で洗い、よく乾かしてください。スポンジはやわらかいものを使用してください。



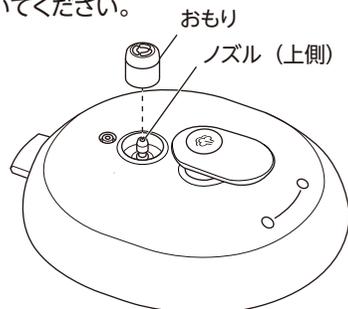
■ふた、ふたパッキン

ふたパッキンは取りはずして洗ってください。食器用洗剤で洗い、よく乾かしてください。スポンジはやわらかいものを使用してください。

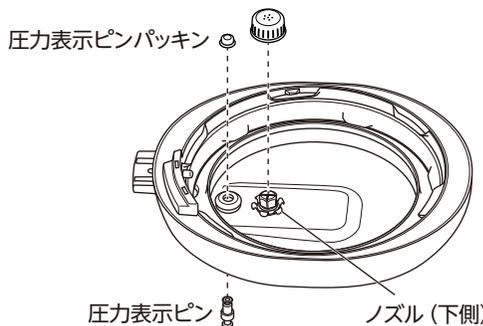


■おもり、ノズル、ノズルフィルター

取りはずして、料理カスなどが詰まってないか確認してください。詰まっている場合は、つまようじや竹くしなどで取り除いてください。



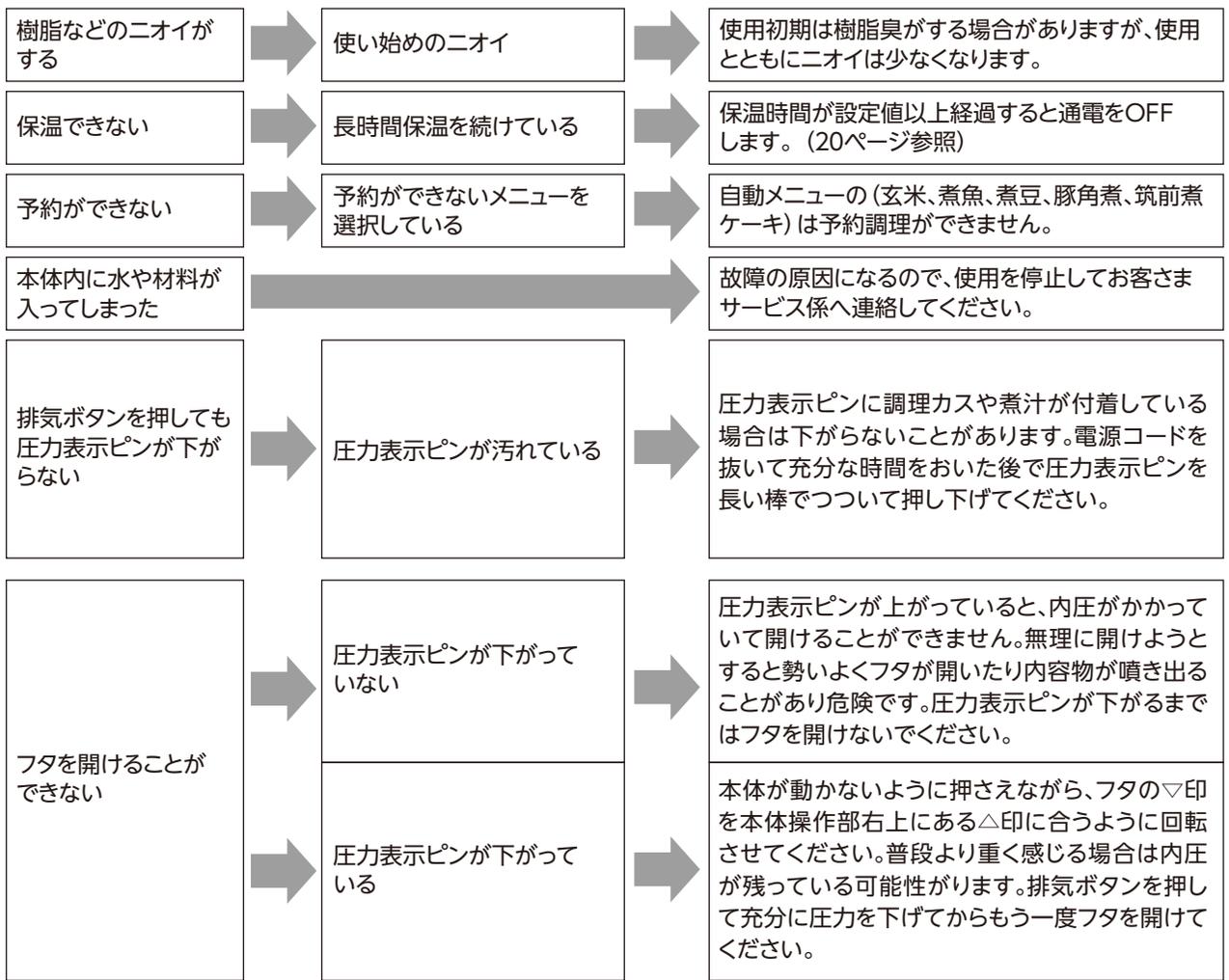
ふたパッキンや圧力表示ピンパッキンなどの部品はお手入れ後の紛失や取り付け忘れ、変形を防ぐため乾いたらすぐ取り付けておくことをおすすめします。



※ノズルは取り外せません。無理に取り外そうとすると故障の原因になります。

故障かなと思ったら

ボタンを押しても作動しない	電源プラグが抜けている	電源コードをコンセントに差し込んでください。
調理ができなかった	調理の途中で電源コードが抜けた(停電した)	電源が切れると最後まで調理できません。
調理がうまくできない	材料の分量を間違えた(自動メニュー)	適切な分量を入れてください。
	調理時間を間違えた(加圧調理)	材料や大きさによって調理時間を調整してください。
	ヒーターやセンサーや内なべに異物が付着している	異物を取り除いてください。
	圧力表示ピンが上がっていない	正しく取り付けてください。 異物が付着している場合は取り除いてください。
	おもりが正しく取り付けられていない	圧力がかからない場合があります。 正しく取り付けてください。
ごはんがうまくできない	米や水の量が正しくない	米の量にあった水量にしてください。
調理中・保温中に音がする	ヒーター制御時のカチツ音がする	ヒーターを制御する素子の音です。 異常ではありません。
	水がはじけるような音がする	なべやヒーター面についた水分が蒸発する音です。 きちんと拭き取ってから調理してください。
	加圧時や沸騰時にシュツシュツという音がする	蒸気が出る音です。異常ではありません。
	上記とは異なる音がする	使用を停止し、お客さまサービス係へご連絡ください。
フタパッキンから蒸気が漏れる	フタが確実に閉まっていない	フタを確実に取り付けてください。
	フタパッキンが正しく取り付けられていない	フタパッキンを確実に取り付けてください。
	フタパッキンが変形している	使用を停止し、お客さまサービス係へご連絡ください。
	パッキンの使用期間が1年以上経過した	パッキンは消耗品です。安全にご使用いただくため1年に1回は新しいものに交換してください。
おもりから蒸気が噴き出す	炊飯において、洗米が十分ではなかった	ぬかが残っていると炊飯中に泡が発生しやすくなります。正しく洗米してください。
	材料や水量が多すぎる	材料・水の量は指定通りに入れてください。 内なべの目盛以上の材料を入れないでください。
	ヒーターやセンサーや内なべに異物が付着している	調理中に発泡するものや粘性のある材料を入れないでください。カレーやシチューのルーは加圧中には入れず、調理終了後に入れて予熱で溶かすようにしてください。
	食材がノズルやおもりに詰まった	みじん切りや千切りはしないでください。 細かすぎるとノズルが詰まる原因になります。



■エラー表示について

画面表示	異常の内容	原因	処置について
E1	フタ開閉異常	フタがセットされていない	フタをセットして再度操作してください
E2	センサー異常	センサーの断線	使用を停止し、お客さまサービス係へ連絡してください
E3	センサー異常	センサーのショート	使用を停止し、お客さまサービス係へ連絡してください
E4	温度上昇の異常	調理量が少なく加熱が適正ではない	材料・水の量を指定通りに入れてください
		ヒーター面に異物が付着している	ヒーター面の清掃を行ってください
E6	高温異常	ヒーター面に異物が付着している	ヒーター面の清掃を行ってください
		内部圧力が異常に上昇している	おもりや加圧表示ピンの清掃を行ってください
E7	加圧異常	調理量が少なく加熱が適正ではない	材料・水の量を指定通りに入れてください
		ヒーターの故障	使用を停止し、お客さまサービス係へ連絡してください
E8	自動メニュー異常	ヒーターの故障	使用を停止し、お客さまサービス係へ連絡してください

※エラー表示がでた時は、加圧状態になっている場合があります。あわててフタを開けようとはせず、圧力表示ピンの状態を確認してください。

圧力表示ピンが上がっている場合は、排気ボタンを押して内部圧力を下げてからフタを開けてください。

仕様

品番	HC-PC251-WH
種類	電気圧力鍋
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	600W
呼び容量	2.5L
炊飯容量 白米	4合
玄米	2合
調理容量	1.6L
寸法	幅23.8×奥行30.6×高さ24.7cm
質量	約 3.9kg
電源コード	1m
使用最高圧力	70kPa ゲージ圧
温度ヒューズ	142℃
付属品	計量カップ、しゃもじ、おたま、取扱説明書、レシピブック

※商品の仕様は予告なく変更する場合があります

アフターサービス（必ずお読みください）

1. 保証書の内容のご確認と保管について。

この商品には保証書がついています。保証書はお買い上げの販売店にて販売店名・お買い上げ日などの記入をご確認の上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 保証期間はお買い上げの日から1年間です。

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3. 保証期間後に修理を依頼されるときは・・・

お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご要望により有料で修理いたします。

4. 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 5 年間です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理依頼、消耗品のご購入は、お買い上げの販売店、または「トップバリュお客さまサービス係」にご相談ください。修理品は、持ち込み修理となります。

6. ご使用中に普段と変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止して、点検・修理をお買い上げの販売店、または「トップバリュお客さまサービス係」にご相談ください。

7. アフターサービスについてわからないことは・・・

アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載の「トップバリュお客さまサービス係」にお問い合わせください。

商品の譲渡・リサイクル品については、保証適用を受けられない場合があります。ご注意ください。



電気圧力鍋 2.5L 保証書

持込修理

品番	HC-PC251-WH		
お買い上げ日	年	月	日
保証期間	本体 1 年		
お客さま	ご住所 ご芳名	様	電話 () -
販売店	住所 店名		電話 () -

※印欄に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は本書をご提示のうえ、お買い上げの店に修理をご依頼ください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの店で無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、商品と本書をご持参・ご提示のうえ、お買い上げの店にご依頼ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの店にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入してある販売店に修理がご依頼できない場合には、下記のトップバリュお客さまサービス係にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) 落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 本書の提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書再発行はいたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

修理メモ

※この保証書は本書に表示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの店または下記のトップバリュお客さまサービス係にご相談ください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは「アフターサービス」をご覧ください。

愛情点検

●長年ご使用の「電気圧力鍋 2.5L」の点検を！



このような症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 異常な音や焦くさいニオイがする。
- その他異常や故障がある。
- 調理中にフタと本体のすきまから蒸気が漏れる。
- フタの開け閉めが固い。
- 圧力表示ピンやおもりの動きが悪い。

ご使用中止

事故の防止のため、電源プラグを抜き、必ずお買い上げのお店に点検（有料）を相談してください。

●中国製

販売者 **イオン株式会社**

〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1

●トップバリュお客さまサービス係

TEL.0120-30-1580(10~17時:日曜日は除く)

●本商品について万が一ご満足いただけない場合は、お買い上げの店までご連絡ください。お取り替えまたはご返金いたします。